

# 記入例

## 病歴・就労状況等申立書

No. - 枚中

(請求する病気やけがが複数ある場合は、それぞれ用紙を分けて記入してください。)

病歴状況	傷病名	慢性腎不全	
発病日	昭和・平成 不年 詳月 日	初診日	昭和・平成 20年 7月 27日
<p>記入する前にお読みください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 次の欄には障害の原因となった病気やけがについて、発病したときから現在までの経過を年月順に期間をあけずに記入してください。</li> <li>○ 受診していた期間は、通院期間、受診回数、入院期間、治療経過、医師から指示された事項、転医・受診中止の理由、日常生活状況、就労状況などを記入してください。</li> <li>○ 受診していなかった期間は、その理由、自覚症状の程度、日常生活状況、就労状況などについて具体的に記入してください。</li> <li>○ 健康診断などで障害の原因となった病気やけがについて指摘されたことも記入してください。</li> <li>○ 同一の医療機関を長期間受診していた場合、医療機関を長期間受診していなかった場合、発病から初診までが長期間の場合は、その期間を3年から5年ごとに区切って記入してください。</li> </ul>			
1	昭和 平成 20年 7月 20日 から 昭和 平成 21年 1月 頃 日まで 受診した ・ 受診していない 医療機関名  ○山内科医院	発病したときの状態と発病から初診までの間の状況（先天性疾患は出生時から初診まで）  7月20日頃からめまいや吐き気があり、7月27日に近医の○山医院を受診した。血液検査の結果、糖尿病と診断されて服薬を開始した。医師に「悪化しないように、薄味のを摂るように」と言われたが、なかなか改善できなかった。以後1か月に1回受診した。  服薬を始めてから吐き気が治り、仕事に支障もなく休まず勤務していた。月々病院に行くことがしだいに面倒になり、半年で通院をやめた。	
2	昭和 平成 21年 1月 頃 日から 昭和 平成 25年 12月 1日 日まで 受診した ・ 受診していない 医療機関名	左の期間の状況 生活にも仕事にも体調面で支障がなく、仕事が忙しかったこともあって病院に行かなかった。 自覚症状はほとんどなかったが、今思えば疲れやすかったように思う。	
3	昭和 平成 25年 12月 2日 から 昭和 平成 28年 8月 31日 日まで 受診した ・ 受診していない 医療機関名  △川駅前クリニック	左の期間の状況 職場で昇格することになり、いいタイミングと思って健康診断を受けたところ、血糖値が高いのですぐに糖尿病内科を受診するよう会社から指示があり、△川駅前クリニックを受診。インスリン注射と薬を処方されていた。最初の2か月は月に1回通院し、その後は2か月に1回受診した。 平成28年4月に医師から「数値があまりよくないから、このままだと透析することになる」と言われた。8月には透析準備のため、転院することになった。  7月頃から吐き気やめまい、ふらつきが多く、自宅で仕事することが1週間に1回ほどあった。	
4	昭和 平成 28年 9月 1日 から 昭和 平成 28年 10月 7日 日まで 受診した ・ 受診していない 医療機関名  市立中央病院	左の期間の状況  透析準備の手術のため受診した。9月1日に手術の案内などを受けた後、9月5日に入院し、翌日にシャント手術を受けた。 食事についてそれまで全く気にしていなかったこともあって、1か月ほど入院し、食事の摂り方や選び方などの指導を受けた。  退院後は自宅近くの病院で透析することにし、紹介状を書いてもらった。	
5	昭和 平成 28年 10月 8日 から 昭和 平成 現年 在月 日まで 受診した ・ 受診していない 医療機関名  ※村透析クリニック	左の期間の状況  自宅から一番近いクリニックで、10月8日から週3日受診して、透析を受けている。吐き気はないが、疲れやめまいを感じやすくなった。  9月から2か月間休職したのち復職したが、透析を受けたり体調不良で休むことが増えたので、1日5時間の勤務形態に変えてもらった。 たまに1時間ほど残業することがあるが、翌日まで疲れを引きずるので気を付けている。	

※裏面も記入してください。

1405 1018 019